

【第 1 号議案・令和 6 年度事業報告書】

令和 6 年度
第 7 3 期事業報告書
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日)

一般社団法人 中部地区医師会

一般社団法人 中部地区医師会 令和6年度事業報告書

昭和28年（1953年）7月13日の中部地区医師会設立以来、昭和63年に中部地区医師会館・検診センターを開設し、平成7年訪問看護ステーション、平成16年訪問介護事業、平成20年ぐしかわ看護専門学校、更に本会の関連会社として平成24年中部システムサポート、平成27年中部スタッフサポート、令和2年に看護小規模多機能居宅介護ナーシングケアハウスやえしまを設立し、本会は、着実に事業を発展させてまいりました。組織の拡大とともに本会の社会的責任もますます大きくなることを自覚し、今後も会員と共に学術団体としての医師会活動はもとより、県や市町村、関係団体と密接な連携をとり、地域に密着した活動を通じて、地域住民の皆様の健康を守り、安全・安心な医療・保健・介護・福祉を支える役割を担って参りたいと考えております。

《医師会会務運営》

一般社団法人の基準に沿った事業計画書及び予算書を作成し「継続事業1.2.3」と「その他事業1.2.3.4」に分けてご報告いたします。また、会員との連携・情報交換、行政や関係団体と連携した体制をもって法令や社会ルール等を遵守し、地域医療・保健・介護・福祉への継続的な貢献を続けることを目的として、コンプライアンス体制を構築し、医師会職員の教育・研修の充実を図り、高い倫理観を持って誠実、公正に行動し、社会から信頼される医師会として、発展し続けるよう努力いたしてまいりました。令和6年度においては、医師会運営管理室を設置し、医師会事業、検診センター事業、訪問看護ステーション事業、ぐしかわ看護学校事業の各事業運営におきまして、体制の見直しや効率化を進めてまいりました。

【令和6年度・定期総会】

日時：令和6年6月28日（金） 19時30分～21時

場所：中部地区医師会館 3階ホール（WEB 併用）

議案：第1号議案：中部地区医師会定款の一部改正について

第2号議案：令和5年度事業報告書について

第3号議案：令和5年度決算報告書について

第4号議案：中部地区医師会役員 選任・退任

【令和6年度・臨時総会】

日時：令和7年3月28日（金） 19時30分～21時

場所：中部地区医師会館 3階ホール

議題：第1号議案：医師会運営規定の一部改正について（案）

第2号議案：令和7年度事業計画書（案）

第3号議案：令和7年度収支予算書（案）

第4号議案：ぐしかわ看護専門学校の学校法人化について

【理事会・関連委員会・その他】

中部地区医師会定例理事会（毎月2回/第2・第4金曜日/19:00）

医師会職員管理者会議（毎月2回/第2・第4月曜日/16:00）

4/13 第55回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会施設長会/17:00/福岡県

JR 博多シティ（松嶋顕介）

6/12 監事監査/19：30/3階ホール（祝嶺 千明・小橋川 啓・松嶋 顕介）
 6/21 評議員会/19：30/3階レストラン（三役・評議員）
 7/6 第55回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会/ホテル日航熊本
 （今井 千春・松嶋 顕介・中田 安彦）
 10/12 第63回地区医師会連絡協議会/17：15/ラグナガーデンホテル
 （今井 千春・末永 正機・西原 実・多鹿 昌幸・富名腰 亮）
 10/30 第1回ぐしかわ看護学校在り方委員会（中田 安彦・末永 正機）
 11/7 中部地区医師会勤続10年医療従事者表彰式典/18：30/NBC（三役）
 12/12 中部地区医師会年末懇親会/19：00/ラグナガーデンホテル（三役・理事）
 2/13 地区医師会長会議/19：00/沖縄県医師会（今井 千春）
 3/26 評議員会/19：30/3階レストラン（三役・評議員）
 3/10 第2回ぐしかわ看護学校在り方委員会（中田 安彦・末永 正機）

1. 公衆衛生の向上を目的とする事業（継続事業1）

本事業は、児童生徒、地域住民に安全・安心な医療を提供することで地域住民の医療福祉の向上と公衆衛生の向上に寄与することを目的に実施しました。

1）学校保健対策事業（担当理事：石川 隆夫 副会長）（副担当：塩田 和誉 理事）

例年通り、管内9市町村教育委員会及び沖縄県教育委員会からの依頼を受け、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びに一部私立学校の合計116校へ学校医（111名）・健診協力医（62名）の配置を行いました。また、令和6年度新規学校医・健診協力医になられた先生方へ勉強会を実施いたしました。

【各種委員会・協議会へ推薦】

○令和6年度宜野湾市要保護児童対策地域協議会員/じのーんキッズ安心ネットへ推薦
 古堅 善亮先生を推薦【任期R6.4.1～R7.3.31】

【関連委員会・その他】

5/23 じのーんキッズ安心ネット代表者会議/14：00/宜野湾市役所

【研修会】

4/18 新規配置学校医・健診協力医、学校健診勉強会/19：30/中部地区医師会
 講師：今西 康次 先生（じねんこどもクリニック）

2）予防接種事業の普及促進、感染症対策事業（担当理事：大城 吉則 理事）（副担当：大城 直人 理事）

- ① 管内9市町村において、おたふくかぜワクチン予防接種を行政措置予防接種として実施。
- ② 個別予防接種（小児・高齢者）について、県内の医療機関のどこでも予防接種が受けられるように北部地区医師会、浦添市医師会、南部地区医師会、那覇市医師会との間で相互乗り入れを継続実施。
- ③ 小児インフルエンザ予防接種（幼児～中学生）につきましては、高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担軽減（沖縄市・北中城村は負担なし）とともに、公費負担化を要請しましたが実現できておりません。引き続き市町村への要望を行ってまいります。
- ④ 高齢者肺炎球菌予防接種は、北谷町、嘉手納町、沖縄市で無料化となっております。令和5年度も未実施の自治体に対しては、要望をおこないましたが、公費負担での実施は難しい状況となりました。引き続き公費負担の実現に向け、要望を行ってまいります。
- ⑤ 平成31年4月に厚生労働省より風しん予防接種を公的に受ける機会がなかった39～56歳

(1962 年【昭和 37 年】4 月 2 日～1979 年【昭和 54 年】4 月 1 日生まれの男性約 1610 万人)の男性のうち、抗体価が低い(8 倍以下)と判明した人に限り、予防接種法に基づく定期接種の実施。(※令和 6 年度末で終了となりますが、本事業の対象である男性の方については、令和 6 年度末までに抗体検査を実施した結果、風しんの抗体が不十分であり、MR ワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかったと市区町村長が認める場合には、令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 2 年間、特別に風しんの定期接種対象として公費負担にて実施できます。)

- ⑥ 带状疱疹予防接種について、沖縄県内の市町村では公費助成をおこなっている自治体が未だなく、現状、接種希望者は全額自己負担での接種となっております。接種機会の拡充により、带状疱疹や神経痛に悩まされる患者が減少することで高齢者医療費の削減にも繋がると期待されることから、管内市町村において市町村長・議会議長宛て公費助成の実現に向けて要望書の提出をおこない、各種委員会で取り上げていただきましたが、令和 6 年度での公費助成は実現できませんでした。(※令和 7 年度 4 月より定期予防接種に追加)

【各種委員会への委員推薦】「医師会代表：石川 隆夫 副会長 大城 吉則 理事」

○中城村予防接種健康被害調査委員会(推薦)【任期：R6. 4. 1～R8. 3. 31】

・令和 6 年度開催なし

中城村内医療機関代表：湧田 森明 先生(わくさん内科)

崎原 徹裕 先生(ハートライフ病院)

○沖縄市予防接種健康被害調査委員会(推薦)【任期：委嘱日より R7. 3. 31 まで】

・令和 6 年度開催 1 回(R7/2/13)

沖縄市内医療機関代表：梁 哲成 先生(やんハーブクリニック)

安里 義秀 先生(あさとこどもクリニック)

○読谷村予防接種健康被害調査委員会(推薦)【任期：R5. 4. 1～R7. 3. 31】

・令和 6 年度開催 2 回(R6/8/21、R7/3/13)

○宜野湾市予防接種健康被害調査委員会(推薦)【任期：R5. 7. 1～R7. 6. 30】

・令和 6 年度開催なし

宜野湾市内医療機関代表：宮城 仲健 先生(みやぎ小児科クリニック)

岡 勇次郎 先生(岡こどもクリニック)

○北中城村予防接種健康被害調査委員会(推薦)【任期：R5. 7. 1～R7. 6. 30】

・令和 6 年度開催なし

北中城村内医療機関代表：山入端 浩之 先生(ファミリークリニックきたなかぐすく)

長田 博臣 先生(中部徳洲会病院)

○うるま市予防接種健康被害調査委員会(推薦)【任期：R5. 12. 1～R8. 11. 30】

・令和 6 年度開催 1 回(R6/11/14)

3) 産業保健対策事業(担当理事：兼城賢作 常任理事)(副担当：道下聡 理事)

「中部地域産業保健センター」を設置し、中部地域の従業員 50 名未満の事業場(事業主)へ、意見書の作成、保健指導、面接指導、情報提供等を行いました。また、ストレスチェック制度を円滑に推進するため関係団体と連携し産業医の先生方に各種情報を提供しました。

【関連委員会・その他】

・12/11 第 1 回産業医研修連絡協議会/19:00/沖縄県医師会 会議室 4 (WEB 併用)

- ・ R7/2/28 中部地域産業保健センター運営協議会/18：00/中部地区医師会（今井 千春 会長）
- ・ 沖縄県医師会産業医研修会サテライト会場/中部地区医師会館/ 8 回開催

4) 学術活動事業（担当理事：山川 研 理事）（副担当： 山口 怜 理事）

学術活動として令和 6 年度も医師の生涯学習の一環として、最新の医療技術各種講演会や研修会を共催・後援いたしました。

① 各種講演会の開催及び後援

② 日本医師会生涯教育制度の追加申告の取りまとめ

令和 6 年度開催 30 回

R6 5 月：3 回、 6 月：4 回、 7 月：2 回、 8 月：2 回、 9 月：4 回、
10 月：2 回、 11 月：4 回、 12 月：2 回

R7 1 月：3 回、 2 月：1 回 3 月：3 回

【各種講演会 ※共催又は後援及び日医生涯教育講座】

○日時：令和 6 年 5 月 16 日（木） 18：30～19：40

場所：中部徳洲会病院 1 階 講義室

演題 1：リードレスペースメーカーの現在

演者：中部徳洲会病院 循環器内科 医長 野村 悠 先生

座長：中部徳洲会病院 副院長 循環器内科統括部長 大城 力 先生

演題 2：心エコーで考える高血圧治療の要点

演者：琉球大学大学院医学研究科

循環器・腎臓・神経内科学講座教授 楠瀬 賢也 先生

座長：中部徳洲会病院 副院長 循環器内科統括部長 大城 力 先生

○日時：令和 6 年 5 月 17 日（金） 19：00～20：30

場所：レフ沖縄アリーナ by ベッセルホテルズ 1 階 ミーティングラウンジ

講演 1：「沖縄県で広げる心不全の地域連携」

演 者：琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座 診療講師
當間 裕一郎 先生

座 長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

講演 2：「沖縄県心不全連携ツールの活用事例」

演 者：医療法人敬愛会 翔南病院 循環器内科 渡慶次 竜生 先生

座 長：愛聖クリニック 院長 中田 安彦 先生

講演 3：「心不全手帳を用いた心不全連携と治療のトピックス」

演 者：群馬県立心臓血管センター副院長 心臓リハビリテーション部長 安達 仁 先生

座 長：県立中部病院 循環器内科 部長 和氣 稔 先生

○日時：令和 6 年 5 月 18 日（土）

場所：沖縄コンベンションセンター会議棟 B

プログラム

12：55～13：00 あいさつ：霞 富士雄 先生（日本乳癌学会 名誉会長）

13：00～14：00 特別講演（サックス演奏）「乳がんに対する免疫療法」

演者：木村 晋也 先生（佐賀大学医学部付属病院 教授）

座長：光山 昌珠 先生（北九州市立医療センター 参与）

14：30～16：30 分科会（グループワーク）

- ①木村先生とグループワーク、②再発への不安、
- ③リンパ浮腫対策&予防、④初期治療の選択
- ⑤再発後の治療の選択、⑥遺伝性乳がん&若年性乳がん、
- ⑦乳房再建、⑧パートナー（患者の夫）の会

16：45～17：50 患者懇親会（参加無料）

○日時：令和6年5月30日（木） 19：00～20：25

場 所：ピーススクエア貸会議室

講演1：「生涯リクシアナ！？」

演 者：琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座
助教 潮平 親哉 先生

座 長：翔南病院 副院長 新里 達志 先生

講演2：「最新のペースメーカー治療 GL～真の生理的ペーシングとは？～」

演 者：中部徳洲会病院 副院長／不整脈センター長 大城 力 先生

座 長：琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座
教授 楠瀬 賢也 先生

○日時：令和6年6月7日（月） 19：00～19：45

場 所：沖縄県立中部病院 第2会議室（役割者のみ） WEB 開催

講演1：「名護市における認知症初期集中支援チームの活動状況について」

演 者：メンタルクリニックやんばる 所長 古謝 淳 先生

座 長：県立中部病院 脳神経内科 金城 正高 先生

講演2：「認知症疾患医療支援センターにおける認知症診療状況について」

演 者：沖縄リハビリテーションセンター病院 認知症疾患医療センター長
富盛 宏 先生

座 長：県立中部病院 脳神経内科 金城 正高 先生

特別講演：「認知症の早期診断の意義と沖縄病院におけるレカネマブ導入体制について」

演 者：沖縄病院 特命副院長／脳神経内科部長 渡嘉敷 崇 先生

座 長：県立中部病院 脳神経内科 金城 正高 先生

ディスカッション：「地域で考える認知症の早期診断と連携について」

ディスカッサー：東部クリニック 脳神経外科 院長 比嘉 靖 先生
宮里病院 精神科 院長 川崎 俊彦 先生

○日 時：令和6年6月24日（月） 19：00～20：00

場 所：WEB 配信

講演1：「多職種で取り組むシンプルな糖尿病治療～2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズムに沿って～」

演 者：白岩内科医院 院長 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学
特任講師 白岩 俊彦 先生

座 長：すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

○日 時：令和6年6月27日（木） 19：20～20：30

場 所：ピーススクエア貸会議室（現地・Web 併用）

講演1：「私の心房細動診療」

演 者：なんくる内科 院長 新里 謙 先生

座 長：県立北部病院 循環器内科部長 平辻 知也 先生

講演2：「あなたの患者が心房細動になったら!」

～2024 年 JCS/JHRS ガイドラインフォーカスアップデート版 不整脈治療から学ぶ～

演 者：那覇市立病院 循環器内科部長 間仁田 守 先生

座 長：中部徳洲会病院 副院長/不整脈センター長 大城 力 先生

○日 時：令和6年6月28日（金） 19：00～20：30

場 所：中頭病院「講義室」（現地・Web 併用）

講演1：「当院での潰瘍性大腸炎治療について」

演 者：中頭病院 消化器内科 吉村 美優 先生

座 長：中頭病院 消化器内科 部長 座覇 修 先生

講演2：「潰瘍性大腸炎診療の Up to Date」

演 者：福岡大学 医学部消化器内科学講座 講師 芦塚 伸也 先生

座 長：中頭病院 消化器内科 部長 座覇 修 先生

○日 時：令和6年7月1日（月） 19：00～19：45

場 所：WEB 配信

講演1：「医療安全から考える肝炎対策の必要性とは？」

演 者：沖縄県立中部病院 消化器内科 山田 航希 先生

座 長：愛聖クリニック 院長 中部地区医師会 会長 中田 安彦 先生

○日 時：令和6年7月5日（金） 19：00～20：30

場 所：WEB 配信

講演1：「高齢者の睡眠障害について～認知症疾患医療センターの状況を踏まえて～」

演 者：沖縄リハビリテーションセンター病院 認知症疾患医療センター長
富盛 宏 先生

座 長：新垣病院 理事長 新垣 元 先生

講演2：「アルツハイマー病治療薬の進歩と高齢者の不眠症治療」

演 者：砂川市立病院 認知症疾患医療センター長 内海 久美子 先生

座 長：新垣病院 理事長 新垣 元 先生

○日 時：令和6年8月9日（金） 19：00～19：40

場 所：WEB 配信

講演1：「経口セマグルチド～最近の知見と使用経験から考える有用性～」

演 者：琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病
内科学講座（第二外科）助教 本間 健一郎 先生

座 長：なし

○日時：令和6年8月30日（金） 19：00～20：10

基調講演：「認知症診療今後の展望～生活習慣病治療の重要性～」

演 者：琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 講師 新里 輔鷹 先生

座 長：まっしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

ディスカッション：「かかりつけ医が知っておくべき、認知症診療のポイント」

ディスカッサント：北中城若松病院 精神科 白湯 光男 先生
東部クリニック 院長 比嘉 靖 先生

琉球大学大学院 講師 新里 輔鷹 先生
司 会：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

○日時：令和6年9月3日（火） 12：15～13：00

場所：すながわ内科クリニック配信会場 WEB 開催

特別講演：「2型糖尿病合併 CKD ケレンディア以降の治療戦略
～ケレンディア実臨床での具体的位置づけ～」

演 者：熊本医療センター 腎臓内科 部長 梶原 健吾 先生

座 長：医療法人貴和の会 すながわ内科クリニック 砂川 博司 先生

○日時：令和6年9月7日（土） 13：00～15：00

場所：沖縄市福祉文化プラザ 交流ホール

演題1：脳の健康と向き合う～MCI や認知症を知ろう～

演者：東京都健康長寿医療センター 副院長 岩田 淳 先生

演題2：認知症における多職種連携と作業療法士の役割

演者：沖縄リハビリテーションセンター病院 朝倉 賢祐 先生

座長：沖縄リハビリテーションセンター病院 理事長 宮里 好一 先生

演題3：ものわすれを感じたら

演者：沖縄リハビリテーションセンター病院 副院長 富盛 宏 先生

座長：沖縄リハビリテーションセンター病院 理事長 宮里 好一 先生

○日時：令和6年9月12日（木） 19：00～20：00

場所：レフ沖縄アリーナ by ベッセルホテルズ（WEB 配信）

演題1：残余リスクの高中性脂肪血症へのパルモディアの有効性

演者：沖縄県立中部病院 循環器内科 副部長 屋宜 宣仁 先生

座長：沖縄北あんしん内科クリニック 院長 山口 怜 先生

演題2：スタチン投与下における不安定プラークへの治療

残余リスクである中性脂肪代謝への介入？Preventive PCI？

演者：国立循環器病研究センター 冠疾患科 医長 片岡 有 先生

座長：沖縄県立中部病院 循環器内科 副部長 宮城 唯良 先生

○日時：令和6年9月28日（土） 19：00～20：00

場所：沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん

演題1：次世代の2型糖尿病治療戦略～注射薬の導入方法を踏まえて～

演者：三浦中央医院 院長 瀧端 正博 先生

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

○日時：令和6年9月28日（土） 19：00～20：00

場所：沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん

演題1：次世代の2型糖尿病治療戦略～注射薬の導入方法を踏まえて～

演者：三浦中央医院 院長 瀧端 正博 先生

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

○日時：令和6年10月22日（金） 19：00～20：05

場所：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート（ハイブリッド開催）

演題1：クリニック外来心臓リハビリテーション開業の挑戦

演者：沖縄北あんしん内科クリニック 院長 山口 怜 先生

座長：翔南病院 循環器内科 渡慶次 竜生 先生

演題2：AI 技術で変わる心エコーと心房細動診療の展望

演者：琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 楠瀬 賢也 先生

座長：県立北部病院 循環器内科 部長 平辻 知也 先生

○日時：令和6年10月24日（水）19：00～19：45

場所：ZOOM 配信

演題1：心エコーと心不全診療～マイトラクリップも含めて～

演者：社会医療法人社団十全会 心臓病センター 榊原病院 森川 喬生 先生

座長：沖縄北あんしん内科クリニック 院長 山口 怜 先生

○日時：令和6年11月20日（水）19：00～20：40

場所：レフ沖縄アリーナ by ベッセルホテルズ（ハイブリッド開催）

演題1：かかりつけ医によるCKD診療のポイント 早期治療介入/専門医受診のタイミング

演者：中頭病院 腎臓内科 医長 上原 正樹 先生

座長：すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

演題2：CKDの病診連携とSGLT2阻害薬の活かし方～蛋白尿で適応患者を選ぶべきなのか～

演者：香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学 講師 祖父江 理 先生

座長：沖縄県立中部病院 腎臓内科 医長 末田 善彦 先生

○日時：令和6年12月9日（月）19：00～20：30

場所：レフ沖縄アリーナ by ベッセルホテルズ（ハイブリッド開催）

演題1：血液疾患の医療連携における当院の考え方について

演者：名嘉村クリニック 院長 名嘉村 敬 先生

演者：すながわ内科クリニック 砂川 澄人 先生

演者：いすのき内科 院長 難波 豊隆 先生

演者：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

座長：牧港中央病院 院長 洲鎌 盛一 先生

総合討議：血液内科とかかりつけ医の地域医療連携の実現に向けて
ディスカッション

演者：琉球大学 第二内科診療教授 仲地 佐和子 先生

演者：中頭病院 血液腫瘍内科部長 宮城 敬 先生

演者：名嘉村クリニック 院長 名嘉村 敬 先生

演者：すながわ内科クリニック 砂川 澄人 先生

演者：いすのき内科 院長 難波 豊隆 先生

演者：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

テーマ提示：那覇市立病院 血液内科科部長 内原 潤之介 先生

司会：田仲医院 院長 田仲 秀明 先生

○日時：令和7年1月23日（木）19：00～20：00

場所：中部徳洲会病院 講堂1階（現地開催）

演題1：本当は怖い足病

演者：中部徳洲会病院 循環器内科 小畑 慎也 先生
座長：中部徳洲会病院 循環器内科 比嘉 健一郎 先生
演題2：形成外科からみた足病・フットケア
演者：中部徳洲会病院 形成外科 久場 良吾 先生
座長：中部徳洲会病院 循環器内科 比嘉 健一郎 先生

○日時：令和7年1月28日（火）19：00～20：30

場所：ZOOM 開催

演題1：多発性骨髄腫について

演者：中部徳洲会病院 循環器・血液内科 轟 純平 先生

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

演題2：高齢者の不眠症診療の適切な薬物療法 “休薬・減量”を意識した睡眠薬の選択

演者：筑波大学 人間総合科学研究科 教授 水上 勝義 先生

座長：かりゆしクリニック 院長 山川 研 先生

○日時：令和7年1月31日（金）19：30～20：30

場所：中部地区医師会 3F ホール（ハイブリット開催）

演題1：実臨床新たなCKD地域医療連携を考える

演者：琉球大学病院 血液浄化療法部診療教授・部長 古波蔵 健太郎 先生

座長：翔南病院 院長 仲地 健 先生

ディスカッション：新たなCKD地域医療連携を考える

コメンテーター：琉球大学病院 血液浄化療法部診療教授・部長 古波蔵 健太郎 先生

パネリスト：まつしまクリニック 院長 松嶋 顕介 先生

読谷村診療所 湧田 健一郎 先生

5) 広報活動事業（担当理事：山川 研 理事）（副担当：山口 怜 理事）

県医師会の「広報委員会」「マスコミとの懇談会」に参加し、医療、保健、介護、福祉等、医師会活動を県民へ広報活動や啓発活動を行いました。また、日本医師会、県医師会、沖縄県、厚生労働省等からの情報や文書等を会員へ迅速に情報提供を行いました。

中部地区医師会 周年事業については、記念誌の発刊に向け、各種資料の収集に努めております。また、当会ホームページにて「医師会ニュース」を開設し、会員の先生方に対し、県医師会、行政からの通知や予防接種、特定健診にかかる書類等について閲覧いただけるようになっております。

【関連委員会等】

沖縄県医師会広報委員会（毎月1回）/19：00/沖縄県医師会

・令和6年度 開催 12回

第1回（4/4）、第2回（5/2）、第3回（6/6）、第4回（7/4）、第5回（8/1）、第6回（9/5）

第7回（10/3）、第8回（11/7）、第9回（12/5）、第10回（R7/1/10）、第11回（R7/2/6）

第12回（R7/3/6）

6) 救急医療対策事業（担当理事：西原 実 常任理事）（副担当：富名腰 亮 理事）

おきなわマラソン大会や管内市町村が主体となって実施する各種イベントへの救護班（医師・看護師）の派遣について、会員施設のご協力を受け救護班の派遣を行いました。中部地区MC協議会においては、救急医療対策について協議を行い、R7年3月「救急搬送プロトコル」の構築に協力いたしました。

【各種委員会への推薦】

○中部地区MC協議会

担当理事 西原 実 常任理事を推薦

4/30 第1回中部地区MC協議会/15:00/沖縄市消防本部

○令和6年度沖縄県災害医療コーディネーター（地域災害医療コーディネーター）

担当理事 西原 実 常任理事を推薦

池原 康一 先生（中部徳洲会病院）を推薦

【その他会議などへの参加】

○R7/1/13 JMAT 研修 基本編 9:00/沖縄県医師会（西原 実 常任理事）

R7/1/17 美ら島レスキュー2024 9:00/中部福祉保健所（西原 実 常任理事）

R7/3/16 JMAT 研修 統括編 9:00/日本医師会（西原 実 常任理事）

【各種イベントへの医師・看護師派遣】

○「第30回2025おきなわマラソン大会」への医療部会委員の派遣と共に、医師・看護師及び理学療法士を派遣しました。

今井 千春（中部地区医師会会長）（医療部長）

西原 実（中部地区医師会救急医療担当理事）（医療委員）

島袋 敬之（中部地区医師会事務局長）（医療委員）

R7/2/16「医師・看護師・理学療法士派遣」 49名

「中部徳洲会病院」

医師：大前 瞭太、山川 慶、石川 樹、玉城 浩人、

看護師・理学療法士：玉城 幸泰、山内 麻衣、高里 俊行、與那嶺 博美

我如古 京美、新垣 逸子、兼久 大輔、楠山 実紅

「与勝病院」

医師：仲宗根 進

看護師：兼城 美和子 理学療法士：玉城 涼香

「石川医院」

医師：石川 隆夫

「ちゅうざん病院」

看護師：浜里 真吏、上原 公

「中頭病院」

医師：本間 翔太、宮本 てん

看護師：名呉 竜也、比嘉 謙人、栗国 和枝、安部 至

「中部協同病院」

医師：与儀 洋和、佐久川 明美

看護師：伊波 説美、中尾 広実

理学療法士：神谷 誠悟、大湾 翔太

「翔南病院」

医師：照屋 善光

理学療法士：奥間 直子

「沖縄リハビリテーションセンター病院」

医師：比嘉 丈矢、大嶺 啓、大城 史子

看護師：古堅 宗英、太田 莉里花、沖田 歩武、長濱 航、

片山 のぞみ、宮里 彩菜

理学療法士：楠木 力、眞川 花織、小渡 麻理子、仲村 友貴、

堀江 友子

「ハートライフ病院」医師：柏葉 匡寛、足立 達哉

看護師：沖田 歩武、長濱 航、片山 のぞみ、宮里 彩菜

○「第 23 回あやはし海中ロードレース大会」への医師・看護師を派遣しました。

R7/3/2 第 23 回あやはし海中ロードレース大会

「医師・看護師・理学療法士派遣」26 名

「桑江皮膚科医院」 医師：桑江 朝二郎

「海邦病院」 医師：田中 新司

看護師：末吉 知美

「与勝あやはしクリニック」 医師：増成 秀樹

「しゅくみね内科」 医師：祝嶺 千明

看護師：阿波根 貴美代、マーコイ 秀美

「マリン在宅クリニック」 医師：奥村 和也、東 智彦

看護師：大矢 麻貴

「中頭病院」 医師：清水 隆裕

看護師：宮里 司、久保田 悠反、比嘉 鈴奈、比嘉 謙人

栗国 和枝、大庭 アヤノ、仲舛 高哉、比嘉 秋江

玉栄 恵

「早川眼科医院」 看護師：玉城 勝江

「かんだ在宅クリニック」 看護師：名嘉真 久美

「与勝病院」 看護師：兼城 美和子、伊盛 里美

「沖縄北あんしん内科クリニック」 看護師：平良 ナツキ

「コザクリニック」 看護師：大城 タ子

「絆愛こころクリニック」 看護師：新垣 盛和

「ハートライフ病院」 看護師：國場 梨亜、川上 美和子、赤嶺 璃美、具志 亮太

東江 幸恵、高山 星七、屋宜 瀬菜

「中部協同病院」 看護師：與那覇 謙吾

以上の 2 つのイベントに合計 75 名の皆さまにご協力いただきました。

7) 地域医療対策事業（担当理事：山口 怜 理事）（副担当：兼城 賢作 常任理事）

例年通り地域支援病院の運営委員会へ役員を委員として派遣し、感染症対応や救急医療等の課題を解決するための連携強化に努め、県立中部病院、中頭病院、ハートライフ病院、中部徳洲会病院の地域医療支援病院運営委員会へ参加しており、令和 6 年度においても、県立中部病院将来構想委員会へ参加し、中部病院の今後の在り方、南病棟を含む病院の立て替えについて意見を述べております。

また、在宅医療に必要な連携を担う拠点について、地区医師会としての役割を明確にし、在宅医療に積極的な役割を果たす医療機関との連携構築に努めております。

さらに、日本医師会の組織強化の施策として、若手医師の入会促進及び医師会員としての定着を図るべく、令和 5 年度より医学部卒後 5 年目までの会費減免期間延長が実施されたことを受け、中部地区医師会においても医学部卒後 5 年目までの会費減免期間を延長し、医師会入会率

の向上に努めております。

【関連委員会への参加】

中部徳州会病院地域医療支援病院運営委員会	5回	開催
県立中部病院地域医療支援病院運営委員会	4回	開催
ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会	4回	開催
中頭病院地域医療支援病院運営委員会	4回	開催
沖縄県医師会外国人医療対策委員会	1回	開催
中部地区医療提供体制協議会	2回	開催
おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	2回	開催
県立中部病院将来構想検討委員会	1回	開催
医療機能分化研修会	1回	開催
沖縄県医師会組織強化検討委員会	1回	開催

【各種協議会・委員会への推薦】

- 中頭病院（地域医療支援病院）運営委員
兼城 賢作 常任理事を推薦
- 中部病院（地域医療支援病院）運営委員
山口 玲 理事を推薦
- ハートライフ病院（地域医療支援病院）運営委員
山口 玲 理事を推薦
- 中部徳州会病院（地域医療支援病院）運営委員
兼城 賢作 常任理事を推薦
- 沖縄市立地適正化計画策定委員会
山口 怜 理事を推薦

【その他】

年末年始における診療時間調べを実施

8) 地域保健対策事業（担当理事：塩田 和誉 理事）（副担当：山川 研 理事）

沖縄県地域医療推進体制連携事業は、平成29年度から「中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会」として新たに活動し、講演会だけではなく勉強会や事例・症例検討会を開催し、幅広く多職種（薬剤師・介護関係者等）にも参加を呼びかけ、地域のかかりつけ医・専門医・行政との連携強化を図り、糖尿病対策の推進を行ってまいりました。令和6年度は以下の勉強会、推奨講演会を開催いたしました。また、本会・宜野湾市・全国健康保険協会沖縄支部の三者で宜野湾市CKD（慢性腎臓病）・糖尿病性腎臓病対策連携協定を締結。宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病対策世話人会へ仲地参与、古堅理事を派遣し、CKD及び糖尿病性腎臓病における医療・行政・地域・保険者の連携を推進しています。

【委員会への推薦】

- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会
塩田 和誉 理事を推薦
- うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会
仲地 健 参与を推薦
- ヘルシーおきなわシティ推進会議
塩田 和誉 理事を推薦

- うるま市健康づくり推進協議会委員
塩田 和誉 理事を推薦
- 中部地区健康おきなわ21推進会議
塩田 和誉 理事を推薦

【各種委員会等への参加】

○中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会の開催

- 7/11 第1回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 9/5 第2回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 11/14 第3回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 1/9 第4回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB
- 3/13 第5回中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会/19:00/WEB

○沖縄市食育推進会議への参加/塩田理事

- 7/8 第1回沖縄市食育推進会議/13:30/沖縄市役所
- 12/4 第2回沖縄市食育推進会議/13:30/沖縄市役所 (WEB会議)
- 12/24 第3回沖縄市食育推進会議/13:30/沖縄市役所 (WEB会議)
- 1/30 第4回沖縄市食育推進会議/13:30/沖縄市役所 (WEB会議)

○うるま市・沖縄市 ちゅらま〜み(腎)プロジェクト/今井会長・仲地参与・塩田理事

- 7/18 CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業コメディカル向け講演会/19:00/WEB
- 8/19 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携講演会/19:00/WEB
- 12/6 うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医会議/19:15/WEB
- 3/11 CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業第2回コメディカル向け講演会/19:00/WEB

○うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/仲地参与

- 9/13 第1回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/うるみん
- 2/6 第2回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会/19:00/うるみん

○うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/塩田理事

- 9/20 第1回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/19:00/うるみん
- 2/27 第2回うるま市CKD・糖尿病性腎臓病対策推進委員会/19:00/うるみん

○うるま市健康づくり推進協議会/塩田理事

- 9/2 第1回うるま市健康づくり推進協議会/14:00/うるみん
- 2/17 第2回うるま市健康づくり推進協議会/13:00/うるみん

○宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病対策世話人会/仲地参与・塩田理事

- 8/29 宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会
/19:00/宜野湾市保健相談センター
- 1/23 宜野湾市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進・評価委員会
/19:00/宜野湾市保健相談センター
- 2/27 第2回宜野湾市CKD対策講演会《じのーん腎プロジェクト》
/19:00/宜野湾市保健相談センター

○中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会

医療従事者、関係者への研修会の開催(4回開催)

第1回勉強会 令和6年8月8日(木)/WEB講演会(76名参加)

演 題:「病診連携を活用した膵癌早期診断プロジェクト ～糖尿病診療からの膵癌高危険群の拾い上げ～」

演 者：社会医療法人敬愛会 中頭病院 消化器内科 森 英輝 先生
座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第2回勉強会 令和6年9月12日（木）/WEB講演会（63名参加）

演 題：「症例検討 食事内容の聞き取りから簡単な薬剤選択へ」

演 者：いすのき内科 院長 難波 豊隆 先生

座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第3回勉強会 令和6年11月21日（木）/WEB講演会（75名参加）

演題①：「日内変動を考慮した栄養指導」

演 者：沖縄県栄養士会 管理栄養士 吉田 陽子 先生

座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

演題②：「とっつきにくい心臓リハビリ ～そんなことないよ、みんなでやろう～」

演 者：社会医療法人敬愛会 翔南病院 循環器科 渡慶次 竜生 先生

座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

第4回勉強会 令和7年1月16日（木）/WEB講演会（37名参加）

演題①：「糖尿病と歯周病」

演 者：松川歯科医院 院長 松川 隆也 先生

座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

演題②：「糖尿病網膜症アップデート」

演 者：琉球大学大学院医学研究科 医学専攻眼科学講座 大城 綾乃 先生

座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

【推奨講演会】

医療従事者、関係者への講演会の開催（2回開催）

推奨講演会 令和7年2月20日（木）/ WEB 講演会（93名参加）

演 題：「2型糖尿病診療をめぐる最近のトピックス：2025」

演 者：琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科）
教授 益崎 裕章 先生

座 長：中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 委員長 仲地 健 先生

推奨講演会 中部地区 GLP-1 Update Meeting 令和7年3月19日（水）
/ ハイブリット開催（85名参加）

演題①：「糖尿病カードシステム ～生活習慣病管理料・腎症重症化予防の活用～」

演 者：医療法人健清会 那珂記念クリニック 副院長 看護師 道口 佐多子 先生

座 長：医療法人貴和の会 すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

演題②：「最適なダイアビースケア実践に向けて ～GLP-1 受容体作動薬の臨床的考察～」

演 者：医療法人健清会 那珂記念クリニック 院長 遅野井 健 先生

座 長：医療法人貴和の会 すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

9）老人保健対策事業（担当理事：多鹿 昌幸 理事）（副担当：末永 正機 副会長）

平成29年4月から管内の9市町村（沖縄市・うるま市・宜野湾市・西原町・北谷町・嘉手納町・中城村・北中城村・読谷村／途中より宜野座村・金武町・恩納村加入し計12市町村）からの委

託を受け「在宅医療・介護連携推進事業」を行っています。令和6年度において、12市町村を6ブロックに分けて事業を展開しております。地域包括ケアシステムの要の1つとして、医療と介護の両方を必要とした高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するために、市町村が実施主体となって医師会等と連携を密にしながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進することを目的としています。事業項目として、下記の1～4項目を行いました。

【在宅医療・介護連携推進事業】

1 「地域の医療・介護資源の把握」

地域の医療・介護関係者の連携に必要な情報と提供することにより、照会先や協力依頼先を適切に選択、連絡できるようにすることを目的としています。

中部地区の医療施設、介護施設の住所や機能を調査し、情報の更新や検索がしやすい様にインターネット上で構築。南部地区医師会、那覇市医師会、北部地区医師会と共同運用により『医療・介護おたすけマップ』を管理しています。

「地域課題の抽出と対応策の検討」

地域の在宅医療・介護関係者等が参画する会議をブロック別に『在宅医療・介護連携推進会議』を定期開催し、在宅医療・介護連携における現状の把握と課題の抽出、対応策の検討を行いました。

6ブロック（各年4回 在宅医療・介護連携推進会議実施）

- ・うるま市 ・沖縄市 ・宜野湾市
- ・広域A（金武町・宜野座村・恩納村）
- ・広域B（北谷町・嘉手納町・読谷村）
- ・広域C（西原町・中城村・北中城村）

「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」

医師会を中心に医療職、介護職と実現可能な切れ目のない体制のあり方を検討し、様々な会議体や連絡会を実施しています。

＜連携強化型在宅療養支援診療所連絡会＞

月1回（年12回）実施

＜中部地区訪問介護事業所連絡会＞ 登録：67事業所

年3回実施

＜在宅看取り部会＞ ※令和5年度より2年計画で設置。

中部地区における在宅（施設・自宅）看取り体制を構築することを目的とし、4つのワーキンググループに分け活動しています。年3回会議実施

WG①（資源の体制整備）

WG②（知識の普及啓発）

WG③（身寄りのない高齢者問題の整理）

WG④（顔の見える関係づくり・繋がりの強化）

「医療・介護関係者の情報共有の支援」

在宅医療・介護連携に関する情報共有支援を行いました。

○専用ホームページを運用し、医療介護関係者へ研修会やお知らせ等の情報共有や医療介護連携のためのシートや冊子等の提供を行いました。（ホームページアクセス数 18,925件）

○在宅医療・介護連携メーリングリスト登録を呼びかけ、積極的に情報発信を行いました。

メーリングリスト登録者：865 名（+7 名）送信件数：43 件

○在宅医療・救急医療連携体制構築に向けた取り組み

高齢者入所施設での療養生活時、急変時における各関係機関への基本的な心得「介護施設等における在宅・救急連携の基本的な心得」をホームページにてデータ上で情報提供。

○平成 30 年度作成の入退院連携マナーブックをホームページにてデータ上で情報提供。

2 「在宅医療・介護連携に関する相談支援」

○医療介護関係者、地域住民からの在宅医療・介護連携に関する相談支援を行いました(23 件)
相談内容：主に地域資源の情報に関すること

3 「地域住民への普及啓発」

在宅医療・介護に関する地域住民の理解を深める為の普及啓発を行いました。

○12 市町村地域住民（住民、地域ボランティア、民生委員等）向けアニメーション動画、エンディングノートを活用した ACP（アドバンス・ケア・プランニング人生会議）出前講座開催

出前講座開催数：11 件 参加人数 180 名

○各市町村住民向けに講師を招いての講演会を行いました。

・うるま市：11/17（参加者：45 名）『元気な今だからこそ考える～あなたらしい終活～』

・広域 B ブロック：読谷村・嘉手納町にて各 1 回開催（参加者：計 84 名）

『生き方も 逝き方も自分で決める！～書いて伝える、私の思い～』

・沖縄市：1/30 （参加者：55 名）

『あなたは人生の最期をどのように迎えたいですか？～想いをつづる命しるべ～Part 4』

・広域 C ブロック：3 町村合同開催（参加者：91 名）

『最期まで自分らしく生きるための道しるべ（命しるべ）』

○市町村担当者と調整し、市町村広報誌（11 月号）等に ACP 記事掲載

○FM コザ「沖縄県認知症行方不明者家族の会」カカララジオ出演し事業周知（2 回出演）

○FM ぎのわん 1 か月限定ラジオ番組「自分らしい生き方を大切に！」（4 回出演）

○FM うるま「OKINAWA FUTURE INNOVATION」（1 回出演）

○在宅ゆい丸センターリーフレット活用し事業周知活動

地域住民・医療・介護機関事業所等へ当センター事業活動について周知の為、リーフレット作成、配布、周知強化

4 「医療・介護関係者の研修」

医療介護関係者の質の向上や顔の見える在宅医療・介護連携体制の構築のため、多職種研修会をしました。

○カテゴリー別（4 つの場面）研修会

・入退院支援多職種研修会（令和 6 年 7 月 30 日 NBC 結婚式場）参加数：86 名

『在宅生活の継続のために必要な入退院支援の多職種連携とは？』

・療養生活支援多職種研修会（令和 6 年 9 月 19 日 北谷ニライセンター＋オンライン）

参加数：101 名

『在宅療養生活における口腔・栄養管理～入退院を繰り返さないための多職種連携～』

・看取り支援多職種研修会（令和 6 年 12 月 19 日 NBC 結婚式場）参加数：60 名

『地域に選ばれる施設になるには？～最期まで見守る力を育てる支援フロー、あります！』

・急変時対応多職種研修会（令和 7 年 3 月 11 日 NBC 結婚式場）参加数：120 名

『事例を通して考える 段階に応じた ACP と多職種連携～その人が、その人らしく、いられるために～』

○高齢者シリーズ研修第 1 弾（令和 6 年 6 月 27 日 嘉手納町中央公民館＋オンライン）

- 参加数:66 名 『認知症高齢者の医療介護連携について～今一度、課題と向き合う～』
○高齢者シリーズ研修第2弾（令和6年10月18日 うるま市健康福祉センターうるみん）
参加数:92 名 『身寄りのない高齢者への支援について～あなたが頑張っていること、共有しませんか？～』
○高齢者施設向け DVD 貸出研修 貸出数：計 68 件、視聴者 315 名

「在宅医療・介護連携に関する関係市町村との連携」

- 在宅医療連携事業に係る各地区医師会コーディネーター会議（毎月／3月に1度持ち回り会場開催）
○沖縄県医師会主催 在宅医療連携事業に係る第1回地区医師会コーディネーター会議（2回参加）
○中部地区における課題や長期的な計画を整理し、構成市町村がそれを共有する必要があることから市町村担当者との意見交換を実施しました。（4回実施）

【令和6年度事業報告書】

今年度の事業活動を評価し事業報告書を作成し各専門職団体、中部地区12市町村、地域包括支援センター各ブロック在宅医療・介護連携推進委員へ報告し今後の活動へ繋げる

・専門職団体：8団体

中部地区歯科医師会、中部地区薬剤師会、沖縄理学療法士協会、沖縄県看護協会、沖縄県介護福祉士会、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄県介護支援専門員協会、沖縄県リハビリテーション専門職協会

・中部地区12市町村、地域包括支援センター、各ブロック在宅医療・介護連携推進委員：全103カ所

【その他、外部会議や研修会等への参加】

- ・うるま市石川消防署ドクターカー連携訓練
- ・ハートライフ病院 は一とネットワーク 等 計26カ所へ参加

【各種協議会、委員会への推薦や会議の参加】

- 沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会委員の推薦

富盛 宏 先生（沖縄リハビリテーションセンター病院）を推薦。

- 沖縄地域包括支援センター運営協議会委員への推薦

末永 正機 先生（宜野湾記念病院）を推薦。

- 10）介護保険対策事業（担当理事：多鹿 昌幸 理事）（副担当：末永 正機 副会長）

「医療なき介護はありえない」の理念から、介護認定審査会において、主導的役割を果たせるよう会員医師を推薦しました。また、沖縄県介護保険広域連合の事業計画策定委員会へ委員として参加しました。

【各種協議会・委員会】

○沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会（末永 正機 副会長）

12/3 第1回沖縄県介護保険広域連合介護保険事業計画策定委員会/14:00/沖縄県介護広域連合

- 11）班活動の強化（担当理事：石川 隆夫 副会長）

各班活動のバックアップ体制の強化に努めているところですが、班活動活性化にむけ班会議が定期的に行われるよう取り組みました。

- ・コザ北班（定例開催：毎月第3火曜日開催）

- ・ 宜野湾班（定例開催：偶数月第 4 月曜日、奇数月第 4 火曜日）
- ・ コザ南班（定例開催：毎月第 2 火曜日）
- ・ 嘉手納班（不定期開催）
- ・ 西原・中城班（不定期開催）
- ・ うるま班（不定期開催）
- ・ 班長連絡会 ※令和 6 年度は 4 回実施。
 4/8 第 1 回班長連絡会、 6/10 第 2 回班長連絡会、 9/9 第 3 回班長連絡会、
 12/9 第 4 回班長連絡会、 2/10 第 5 回班長連絡会

- 1 2) 医事紛争・医療安全対策事業（担当理事：富名腰 亮 理事）（副担当：西原 実 常任理事）
 医事紛争処理体制や医療安全対策の強化に向けて、沖縄県医事紛争処理委員会、沖縄県医療安全対策委員会、沖縄県医師会会員倫理向上委員会に参加し、協議、検討を行いました。

【委員会への参加】

- 11/13 第 1 回沖縄県医師会医事紛争処理委員会/19:00/沖縄県医師会
 3/31 第 2 回沖縄県医師会医事紛争処理委員会/19:00/沖縄県医師会

- 1 3) 医療保険対策事業（担当理事：大城 直人 理事）（副担当：大城 吉則 理事）
 沖縄県医師会地区医師会医療保険担当理事連絡協議会に出席し、医療保険についての協議、検討を行いました。また、九州厚生局個別指導への立会に協力いたしました。

【各種協議会・委員会への推薦】

- 宜野湾市国民健康保険運営協議会への委員（任期：R5 年～3 年間）
 涌波 淳子 先生（北中城若松病院）を推薦
- 北谷町国民健康保険運営協議会への委員（任期：R5 年～3 年間）
 菅谷 公男 先生（北上中央病院）を推薦
- うるま市国民健康保険運営協議会への委員（任期：R4/6/1～R7/5/31）
 西川 高広 先生（伊波クリニック）を推薦
- 嘉手納町国民健康保険運営協議会への委員（任期：R4/6 月～R7/3 月）
 名嘉 準一 先生（名嘉病院）を推薦

【協議会】

- R7/3/12 第 1 回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会/19:00/沖縄県医師会

【九州厚生局個別指導立会】

- ・ 4/11 那覇第一地方合同庁舎 古堅 善亮
- ・ 7/11 ちゅうざん病院 大城 直人 今井 千春
- ・ 8/22 那覇第一地方合同庁舎 大城 直人
- ・ 12/12 なかがみ西病院 大城 直人
- ・ R7/2/13 那覇第一地方合同庁舎 大城 直人

- 1 4) 精神保健対策事業（担当理事：兼城 賢作 常任理事）（副担当：道下 聡 理事）
 沖縄県医師会、沖縄県立総合精神保健センター等と連携し自殺予防対策事業の一環として、かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会に担当理事を派遣し研修会を企画しました。

【各種協議会・委員会等への推薦】

- かかりつけ医等心の健康対応向上研修企画委員会委員の推薦

2、看護師養成を目的とする事業（継続事業2）

（担当理事：末永 正機 副会長）（副担当理事：多鹿 昌幸 理事）

本事業は、少子高齢化の進展、医療技術の目覚ましい進歩により更に多様化、複雑化した地域医療・保健・福祉・介護のニーズにも応えられるような柔軟に対応できる看護師の養成を行うことを目的として実施しました。

令和6年度は、去る3月5日には第15期生81名が巣立ち、ぐしかわ看護専門学校の卒業生総数は1,188名となっており、着実に本会の使命である地域医療、介護、福祉の充実、強化に寄与しました。このことにつきましては、会員各位並びに会員施設からの絶大なる協力の賜物であり厚くお礼申し上げますと共に、更に講義及び臨地実習を予定通り行うことが出来たことに対しても深く感謝申し上げます。

（1）受験生の確保

少子化による18歳人口の減少及び社会情勢の変化による社会人受験生の減少から受験生の確保が厳しさが増す中、令和6年度県内看護学校の全体受験者数は前年比23名増、前年比2%の増加となりましたが、県内5校の内、2校がプラスに転じた一方3校がマイナスとなり、いまだ減少傾向にあることが挙げられます。

厳しい状況の中、ぐしかわ看護専門学校では令和6年度の受験生確保の対策として、①SNSを活用した情報発信（ホームページの充実、Instagram及びXの活用） ②高校進路ガイダンスへの積極的な参加 ③オープンキャンパスの実施（近隣の高校生140名が参加） ④社会人対象受験対策セミナー実施（35名が参加）など対策を実施しましたが、ぐしかわ看護専門学校の受験者数161名前年比48名減となりました。

（2）看護教員の確保及び就業環境の改善

令和6年度教員確保の対策として、「①教員業務の一元化を計り、学習支援や出席管理システムなどのICTを活用し業務負担の軽減を図る。②専任教員、実習指導教員の適正配置を行う。③新任教員の教育の質向上として、eラーニングを活用した専任教員講習会科目の受講の推進する。」以上3つの取組みを計画しました。①と③については、教員および事務職員の協力により、業務のスリム化、教育の質の向上につながりました。②に関しては、専任教員の体調不調などの理由により年間通した安定した適正な配置には至らず、臨地実習の展開や内容の検討が必要である。

（3）防音工事の調査、申請

ぐしかわ看護専門学校は建設から17年が経過しており、施設設備の老朽化による設備の故障などが頻発し、中でも空調設備の修理は高額となること、更に古い機器であることから消費電力が高く、学校の電気料金増の最大の要因となっており、空調設備の更新が必要となっていることから、沖縄防衛局の防音工事の補助金を活用し、空調設備の更新を令和5年度より計画を進めています。令和6年度に設計会社が決まり、工事の工程表（案）が作成されまし

た。工程表（案）は宣誓式、卒業式等の各種学校行事に支障きたさないよう計画しております。令和7年7月中旬より工事の準備に入り、8月11日（夏休み初日）より校舎棟の工事が着工されます。校舎棟を8つのエリアに分け、エリア毎に工事を進めていきます。1エリアを概ね2週間で完成させ、令和8年2月中旬頃の完成予定となっています。講堂棟においては、宣誓式後の9月15日に工事を着手し、令和8年2月下旬頃の完成予定です。令和7年7月初旬頃を目途に建築業者を決定し、工程表（案）の計画通りに防音工事を進めてまいります。

※補助額：ぐしかわ看護専門学校 230,244,000 円

ぐしかわ看護専門学校（講堂）91,129,000 円

(2) 病学連携

当校の実習施設である会員施設と、学生の就職動向や少子化における今後の医療機関や学校が取り組むべき課題について、情報交換を行いました。会員医療機関との相互の教育に係る交流・連携については、年度初めの実習調整会議や非常勤講師の派遣依頼などを通して、本校の教育への理解や支援について継続して協力を得ている。

(3) 学校評価

学校評価の実施、学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保障を図るため文部科学省の「学校評価ガイドライン」に基づき自己評価、学校関係者評価を実施し、評価結果の公表を行いました。学生による学校評価では、コロナ禍の影響から感染対策を継続する中での学校生活もあり、「担当教員の実習指導に満足している」「実習施設の指導者の実習指導に満足している」「教職員は学生のプライバシーの保護に努めている」などの評価が高い結果となりました。

(4) 放送大学連携協力

令和2年度から開始した放送大学との連携協力によるダブルスクール制度の利用促進を図り、令和6年度は新たに1名が入学し、ダブルスクール入学生は4名となりました。

(6) 電子図書及び電子教科書

電子図書は順調に蔵書数を増やし、現在までに176タイトルの電子図書を導入し、多くの学生が利用しております。電子教科書の導入については、令和6年度には、電子教科書システムの取扱業者2社からの提案を受け内容、機能等の検討を行いました。令和7年度の沖縄防衛局の改造防音工事に伴い、施設環境の検討が必要となり、令和9年度の導入を目指します。

(7) 後援会

本年度も学校後援会から入学式、宣誓式、卒業式、学校祭等の各学校行事及び国家試験対策として業者模試などに後援会から費用の支援等をいただき学生生活の支援を行いました。

(8) 各種会議

学校運営が円滑に行われるよう学校運営会議、管理者会議、職員会議、教育会議等各種会

を予定通り実施いたしました。また、令和6年10月および令和7年3月には、「ぐしかわ看護専門学校在り方委員会」が開催され、学校法人化に向けた答申が提案されました。

(9) 地域貢献

ボランティアクラブの発足もあり、地域に密着した学校として老人会との交流やうるま市主催のイベント、ボランティア活動への参加を積極的に実施しました。

令和6年度卒業生就職進学状況

1. 令和6年度卒業生（15期生）就職・進学状況

令和6年度卒業生（15期生）の就職・進学状況は、下記に示す通りで、県内への就職は54名66%、県外への就職は17名21%で、進学3名4%、その他7名9%となっております。

2. 看護師国家試験合格者状況

国家試験については、学校の重点目標に掲げ、学生、教職員共に100%合格を目標に取り組みを行っておりますが、令和6年度（15期生）の合格率は国試の難易度が高かったこともあり、81名が挑み76名の合格で合格率は93.8%となっております。

令和6年度卒業生（15期生）就職・進学状況

区分	医療機関名	人数	
中部地区 医師会 会員	中頭病院	26	32%
	中部徳洲会病院	2	2%
	ハートライフ病院	3	4%
	ちゅうざん病院	2	2%
	合計	33	41%

区分	医療機関名	人数	
県内会 員外	浦添総合病院	1	1%
	同仁病院	1	1%
	合計	2	2%

区分	医療機関名	人数	
県内公立 病院	県立中部病院	2	2%
	南部医療センター	1	1%
	県立宮古病院	1	1%
	県立八重山病院	2	2%
	沖縄病院	3	4%
	那覇市立病院	1	1%
	琉球大学病院	9	11%
	合計	19	23%

区分	医療機関名	人数	
県外	三愛会総合病院	1	1%
	千葉徳洲会病院	2	2%
	順天堂大学付属浦安病院	2	2%
	東京西徳洲会病院	1	1%
	東京都立広尾病院	1	1%
	横浜旭中央病院	1	1%
	横浜新都立脳神経外科病院	1	1%
	湘南鎌倉総合病院	1	1%
	湘南藤沢徳洲会病院	2	2%
	川崎幸病院	1	1%
	平塚共済会病院	1	1%
	大阪市立総合医療センター	1	1%
	関西医科大学総合医療センター	1	1%
	小倉病院	1	1%
	合計	17	21%

区分	大学名	人数	
進学	県立看護大学	1	1%
	名城大学	2	2%
	合計	3	4%

区分	その他	人数	
その他	その他	7	9%
	合計	7	9%

区分	人数	
中部地区医師会会員施設	33	41%
県内会員外	2	2%
県内公立病院	19	23%
県内合計	54	66%
県外	17	21%
進学	3	4%
その他	7	9%
総合計	27	100%

看護師国家試験合格状況

年度	期	受験者数	合格者数	合格率
22年度	1期生	75	74	98.7%
23年度	2期生	72	71	98.6%
24年度	3期生	76	74	97.4%
25年度	4期生	82	82	100.0%
26年度	5期生	73	72	98.6%
27年度	6期生	75	74	98.7%
28年度	7期生	90	88	97.8%
29年度	8期生	73	72	98.6%
30年度	9期生	78	75	96.2%
R1年度	10期生	92	91	98.9%
R2年度	11期生	82	82	100.0%
R3年度	12期生	78	78	100.0%
R4年度	13期生	83	80	96.4%
R5年度	14期生	78	73	93.6%
R6年度	15期生	81	76	93.8%

3. 地域住民の健康増進に関する事業（継続事業3）

（担当理事：松嶋 顕介 副会長）（副担当：末永 正機 副会長）

本事業は、地域住民に対し「高齢者の医療の確保に関する法律」により実施される特定健診、「健康増進法」に基づく各種がん検診を集団で実施。また「学校保健安全法」「母子保健法」に基づく各種健診を乳幼児・児童・生徒の疾病の予防、早期発見を行い地域住民の健康増進に寄与することを目的に実施しました。

令和6年度においては、検診センターの基幹システム（健診システム）の老朽化に伴い、新システム（富士フィルムヘルゼア）を導入しての健診業務実施となりましたが、その運用体制構築に時間を要し、各健診結果報告が従来の期日より大幅に遅れる事態が発生し、受診者様ならびに市町村、各関係団体の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

現在は、職員の努力により通常の状態に戻っております。

1) 特定健診・各種がん検診（集団健康診断）の事業

令和6年度においては、当会の健診システムを富士フィルム「ヘルゼア」へ入れ替えての検診実施となりました。集団検診では、従来紙カルテで運用していました検査結果の記録方法をICカードを使用した電子記録（アークテック「巡回くん」）による運用に変え、紙媒体の削減、検査結果記録漏れ防止等、効率化に向けた取り組みを行いました。

沖縄市・うるま市・嘉手納町・北谷町・北中城村より委託を受け実施している特定健診及び各種がん検診（肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん・乳がん検診、前立腺がん検診、胃がんリスク検診）骨粗鬆症検査、肝炎ウイルス検査について、集団健診（婦人科集団健診含む）では、事前の受診予定数が把握できることにより、検診スタッフの適正配置が行えることから、引き続き予約制による検診実施を行いました。年間、住民健診（特定健診等がん検診）115回、婦人科集団検診68回実施、うるま市・嘉手納町・北谷町・北中城村においてはナイト健診を6回実施しております。

「尿中推定1日塩分量検査」についてはうるま市、北中城村にて対象年齢を限定してではありませんが、公費での実施をおこなっており、嘉手納町集団検診においては、オプション検査として「尿中推定1日塩分量検査」を実施しております。他の市町村でも実施できるよう継続して働きかけをおこなってまいります。

子宮頸がん検診では、がんの要因となるヒトパピローマウイルス（HPV）に感染しているかどうかを調べるHPV検査をオプション検査として、「細胞診」と「HPV」の併用検診の受診勧奨へ積極的に取り組みました。

※ 集団検診（特定、胃・大腸・肺がん）総実施回数 115回 総受診者数 13,843名

沖縄市 23回 うるま市 55回 北谷町 12回 嘉手納町 12回 北中城村 13回

※ 集団健診収入 R5実績：263,514,000円 R6実績：240,685,176円

2) 学童健診（乳児・1歳半・児童生徒）事業

令和6年度におきましては、北谷町と沖縄県（県立4校：球陽中学高校・北谷高校・嘉手納高校・美里高校）より委託を受け、児童生徒の各種検査（尿・視力・聴力・心電図・XP）と一部市町村の認可・認可外保育施設園児の各種検査（尿・蛭虫・内科健診）を実施しました。また、乳児健診（小児保健協会より）及び1歳半健診（北谷町・嘉手納町より）を実施しました。

4. 在宅医療推進に関する事業（その他事業1）

（担当理事：多鹿 昌幸 理事）（副担当：末永 正機 副会長）

本事業は、中部地域の病院や療養施設から自宅へ戻る在宅医療・看護・介護・福祉が必要な利用者（高齢者・障がい者・障がい児及び人生の最終段階を自宅で迎えるターミナル患者等）に対し訪問看護・訪問リハビリ・介護サービスを提供し在宅で療養生活が安心して過ごせるよう実施しました。

① 訪問看護ステーション事業運営

沖縄市八重島事務所を拠点に、中部地区全域を対象に引き続き、看護師・理学療法士・言語聴覚士による多職種協働でサービスを提供し機能強化訪問看護ステーション加算Ⅱ（常勤看護師5名・ターミナルケア算定年間15回以上）を継続取得しました。利用者には更なる質の高いサービス向上（24時間体制の強化・ターミナルケア・超重症児・児の重症度の高い患者7名受入等）に務めました。

質の高い訪問サービスを継続するため定期的な課内研修や外部研修を計画的に行いました。中・長期的なキャリアアップ制度確立を進めています。また、病院・診療所・地域介護保険施設との連携等、地域・医療・福祉の連携を強化しました。更に、医療ニーズの高い方の終末期ケア等、地域医療機関との連携、退院支援、在宅医療、地域の実情や課題解決、切れ目ない支援への取り組みを行い、さらには、各事業所の利用者獲得増のために原則1回/月、担当理事と各部署にて会議を行い、利用者獲得へ向けての対策、問題点などを確認しております。

② 居宅介護支援事業所事業運営

特定事業所加算Ⅱ（主任介護支援専門委員2名・介護支援専門員3名）を継続し訪問看護・訪問リハビリ・ヘルパーと連携。職員体制を整え沖縄県介護保険広域連合、地域包括支援センター・医療機関との連携を強化推進。職員個々の能力向上のため、Web研修へ参加すると共に、定期的な勉強会の開催に努めました。

事業所の健全経営基盤を構築するため他の介護施設との連携を深めると共に、会員が利用しやすい24時間体制やターミナルケアに特化した訪問看護・介護への充実に努めました。

【利用者の開拓】

中部地区会員施設や国立療養所沖縄病院、琉球大学病院、県立中部病院、県立南部こども医療センター等と更なる連携強化を図り利用者の拡大を図りました。

【24時間体制の強化】

主治医の指導の下、利用者が安心して在宅療養が出来るように「24時間体制の強化」「主治医や利用者へのきめ細かい情報提供」を行い、地域医療の推進・安心と信頼を得られる事業所運営を図りました。

【実習施設として受け入れ態勢の強化】

昨年に引き続き、ぐしかわ看護専門学校等の実習施設として実習生の受け入れを行いました。

5. 会員福祉向上に関する事業（その他事業2）

会員福祉事業（担当理事：道下 聡 理事）（副担当：石川 隆夫 副会長）

本事業は、会員及び会員施設の福祉の向上経営安定化を目的に実施されるもので、会員及びその親族（一親等）が死亡した場合における告別式新聞広告を行うと共に、下記の事業を行いました。

① 各種表彰受賞者合同祝賀会の開催（6月定期総会終了後開催）

② 中部地区医師会表彰の開催

平成 29 年度より中部地区医師会表彰規程を作り、令和 6 年度も引き続き長年に亘り学校医や健診協力医、ぐしかわ看護専門学校講師、各種委員会委員、本会役員等としてご尽力頂いた会員並びに会員施設に勤務する医師以外の職員で勤続 10 年に達した医療従事者に対し「中部地区医師会表彰」として表彰を行いました。

1) 令和 6 年度医療従事者表彰

日 時：令和 6 年 11 月 7 日（木）18：30～

場 所：NBC 日本ブライダルセンター

受賞者：237 名（28 施設）

2) 中部地区医師会会員表彰式・祝賀会

日 時：令和 7 年 3 月 28 日（金）/臨時総会終了後開催

場 所：中部地区医師会館

受賞者：7 名

3) 中部地区医師会会員（配偶者含む）、浦添市医師会会員、中部地区歯科医師会会員向けに、人間ドックを日曜日【7/23（9 名）、11/12（18 名）合計 2 回】）及び平日早朝（7:30 開始）で行い、会員が受診しやすいよう努めました。

6. 受託健診に関する事業（その他事業 3）

（担当理事：松嶋 顕介 副会長）（副担当：末永 正機 副会長）

本事業は、会員施設からの臨床検査受託事業や管内市町村や健康保険組合等から委託を受け人間ドック、特定健診（特定保健指導及び入力代行含む）、各種検診の施設内健診事業、また、労働安全衛生法に基づき検診車を活用しての健康診断や特殊検診に関する企業健診事業及びバーストレスチェック事業等を地域住民の疾病の早期発見、健康の保持と増進を目的に行いました。

令和 6 年度においては、検診センターの基幹システム（健診システム）の老朽化に伴い、新システム（富士フイルムヘルゼア）を導入しての健診業務実施となりましたが、その運用体制構築に時間を要し、人間ドック、健康診断、会員施設からの特定健診、企業健診について、健診結果報告が従来の期日より大幅に遅れる事態が発生し、受診者様ならびに会員施設、市町村、各事業所ならびに関係団体の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

現在は、職員の努力により通常の状態に戻っております。

1) 臨床検査受託事業【臨床検査課】

令和 6 年度は以下の事項について、予算達成に向け務めて参りました。

① 臨床検査技師の技術向上を目的に各種学会や講習会へ積極的に参加いたしました。

又、検査課内のマルチ化対応を目的に、業務のローテーションを行い人材育成に努めました。

『学会、講習会』

- 1, 日本臨床細胞診学会：6 月、10 月に参加し、細胞診検査の動向を確認した。その中で、HPV 単独導入実施が検討され、2024 年度の検査体制運用に役立てた。
- 2, 日本マスキニング学会/県技師会学会研修会：全国の取り組み、琉球大学、沖縄県の方角性、により、2024 年度が多胎児追加検査体制構築の準備に役立てた。
多胎児追加検査対象者数：135 名（全体の 1.2% ※2024 年データより）

『検査課内マルチ化対応』

1. 超音波検査、眼底検査、肺活量検査において検体業務を兼任しながら、ドック、検診事業のフォローアップ対応を実現。
2. 受付業務から至急検体回収体制、1 コースカバー体制を構築し、集荷対応が行えることを実現。
3. 補助員の業務拡大を行い、病理/細胞診、細菌業務が行えることを実現。

② 先天性新生児代謝異常検査事業

沖縄県地域保健課から受託した事業、タンデムマス法による「新生児先天性代謝異常等検査・(新生児マス・スクリーニング・20 種)」は年間約 12,200 名の検査を行いました。

昨年 11 月より、新たに沖縄県より受託をうけ拡大マスクリーニング検査を受託開始しました。

2) 人間ドック、各種健康診断【健康増進課】

令和 6 年度の施設内健診では、当会の健診システムを富士フイルム「ヘルゼア」に入れ替えての実施となりました。4 月から 5 月にかけては新健診システムの運用・構築を行いながらとなったため、1 日あたりの予約数を抑えて健診を実施いたしました。6 月以降は従来の予約数へ戻し、年間を通して計画通りに 1 日当たり、午前 80 名（ドック 50 名、健康診断 30 名）/午後 35 名（ドック 15 名、健康診断 20 名）の受入れ体制を維持し、以下の通りとなりました。

1. 施設内健診予算 520,000,000 円に対して、実績は 510,036,000 円、達成率 98%
2. 人間ドック（13,312 名）、健康診断等（10,041 名）、合計約 23,353 名の受診者を受入れました。
3. 琉球大学病院産婦人科のご協力により、引き続き、月曜日の午前、火曜日の午後、婦人科検診を実施する事が出来ました。
4. 胃、大腸カメラ担当医師のご協力について
会員並びに琉球大学病院のご支援ご協力により、胃、大腸カメラを実施する事が出来ました。誠にありがとうございました。令和 7 年度も引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。
5. 各市町村から特定健診及びがん検診（結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診）の同日実施の受診勧奨を行い受診者増に繋げました。
6. オプション検査の充実について

当センターのドック受診者の 7 割は協会けんぽ（労働安全衛生法）となります。基本項目は会社負担での実施がほとんどですが、各会社、オプション検査等は自己負担での受診となります。受診者本人が個人負担金を出してでも受診したいと思わせるオプション検査として引き続き、腫瘍マーカー（CA125、CA19-9、CEA、AEP）、認知症スクリーニング検査（MCI）、腸内フローラ検査を実施しました。今後もオプション検査項目の充実に努めます。

※認知症スクリーニング検査「MCI」（血液中の成分から、アルツハイマー病の原因とされる脳内の

老廃物を排除する機能が正常であるかどうかを調べる検査）

※腸内フローラ検査（検便にて腸内細菌のバランスを調べ、腸内細菌の総合評価、菌の保有率、改善アドバイスを行う。）

7. 胃内視鏡検査提供体制の強化について

胃部内視鏡検査を希望する受診者が増加している為、内視鏡室の 3 診体制への改装、リ

カバリー室の新設、スタッフ増員などの対応を行い、これらの設備と人材を最大限に活用して、胃内視鏡検査の受診枠を拡大し受診者の要望に応える事が出来ました。

令和6年度においては、胃部検査のX線装置が1台(施設内)での稼働となったことから、午前ドックでの胃X線枠を30名とし、胃内視鏡検査枠を25名へ拡大し実施いたしました。また午後ドック枠を増やす事で受診枠の確保を図りました。

3) 特定健診等代行入力事業【健診課】

会員(77施設)・他地区会員(13施設)より、請求事務処理代行(検査含む)の委託を受けて実施しました。

4) 企業健診事業【営業課 健診課】

令和6年度は、企業健診においても、健診システムを富士フイルム「ヘルゼア」へ入れ替えての検診実施となりました。市町村住民健診と同様に、従来紙カルテで運用していました検査結果の記録方法をICカードを使用した電子記録(アークテック「巡回くん」)による運用に変え、紙媒体の削減、検査結果記録漏れ防止等、効率化に向けた取り組みを行いました。この運用の変更により、企業巡回健診の出動班数は減少しましたが、健診料金の見直しを行い、ほとんどの事業所にて健診料金の値上げを実施したことで、収入確保を行っております。

オプション検査においては、引き続き腫瘍マーカーや胃がんリスク検査等、血液検査で実施できる検査を充実させ、オプション検査の受診率向上を図りました。今後もマーケティングを含む営業戦略の見直しを図ってまいります。

令和5年度企業巡回健診実績 279,954,623円

令和6年度企業巡回健診実績 290,741,737円

5) 各種がん検診個別事業【健診課】

管内9市町村と他8市町村(恩納村、金武町、宜野座村、東村、名護市、本部町、伊江村、今帰仁村)より委託を受け、乳がん検診(マンモ検査、乳エコー)、子宮がん検診を実施医療機関施設(会員施設、会員外施設)の協力のもと行いました。

また、浦添市の子宮がん検診については、浦添市医師会より委託を受け行いました。乳がん検診(マンモ検査)は、本会所有のマンモ検診車を会員施設に配置(9施設)して頂き受診者増に取り組みました。子宮がん検診は、液状化検体細胞診(LBC法)による精度の高い検診を実施しており、受診者増に努めております。また、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診については、令和6年度、沖縄市・うるま市・北谷町・北中城村・中城村・金武町・恩納村の7市町村で実施しており、実施医療機関28施設(会員23施設、会員外5施設)の協力のもと継続的に受診率向上対策に取り組みました。

さらに、対策型胃がん検診の胃内視鏡検査において、富士フイルム内視鏡検診システムを使用したWEBクラウド上での二重読影体制を市町村ならびに一次検診医療機関13施設、二次読影医師6名の先生方にご協力を得て運用しております。令和6年度は1,014件の読影を実施しております。

6) 特定保健指導事業【産業保健課 保健指導係】

令和6年度は、第4期に向けて専門的な教育研修への参加と技術・質の向上を目指しながら効果的な保健師指導に取り組みました。その成果もあり、特定保健指導実施人数は前年度より増加となりました。

年度末には毎年契約保険者への特定保健指導の実績評価、独自の保健指導調査内容について報

告しています。今回は朝食を摂らないことによる生活習慣病リスクについてデータの収集・評価分析をし、特定保健指導の介入やアプローチ方法に関する課題も見えてきました。

令和6年度より第4期へ突入し特定保健指導はアウトカム評価が導入され、より成果を重視した評価体系となっています。保健指導スキルが問われるようになり、今まで以上に対象者への効果的・効率的な保健指導が求められてきます。対象者の意識向上、実践に繋がり、満足度と健康増進への成果が出せる保健指導を目指し取り組んで参ります。

【実績】

特定保健指導実施人数 合計：1,904名（前年度 2,079名）

積極的支援：888名（前年度 992名）

動機付け支援：1,016名（前年度 1,087名）

【その他】

中部地区地域産業保健センター健康相談実施人数 66名（前年度 124名）

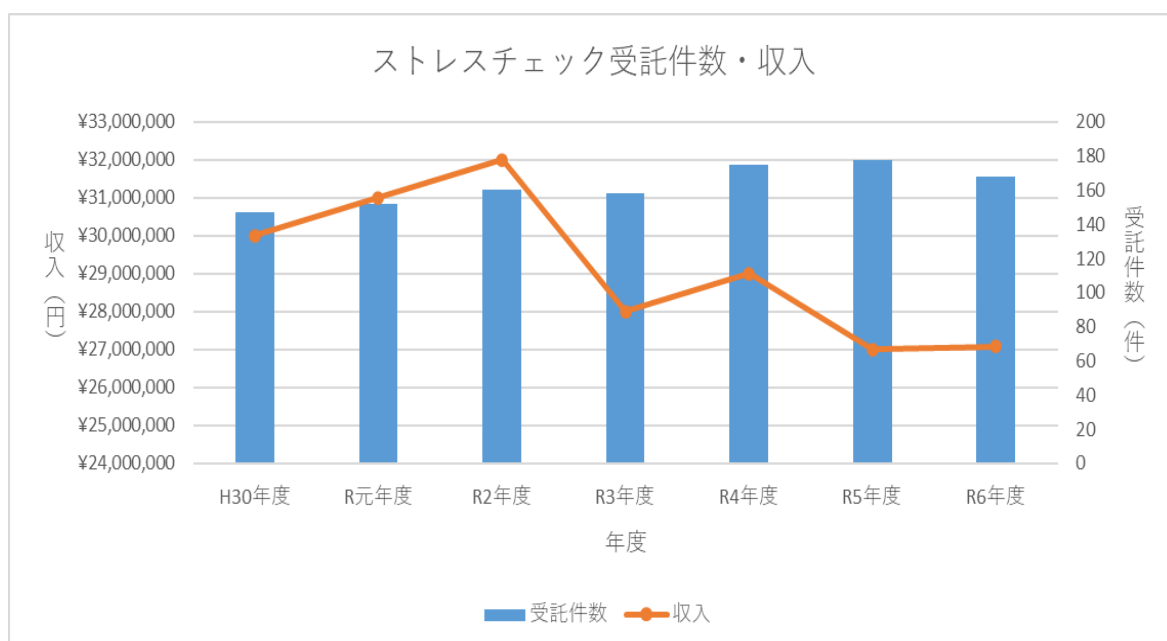
中部地区地域産業保健センター医師意見書 91事業所/991名（前年度 105事業所/1,234名）

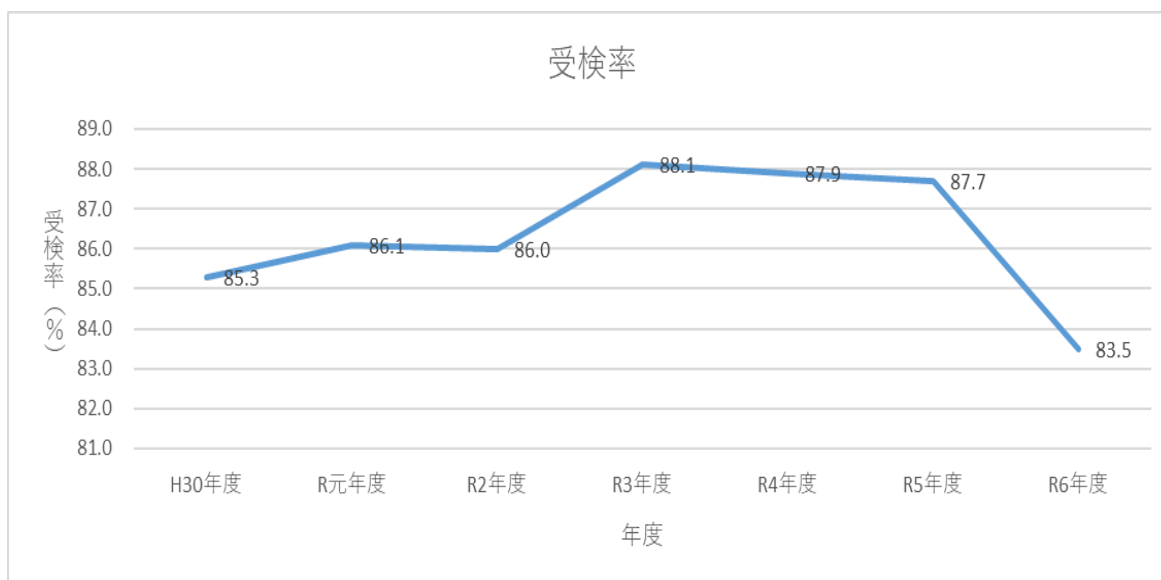
7) ストレスチェック事業【産業保健課 ストレスチェック係】

令和6年度では、ペーパーレス化のためWEB受検を推進した結果、ストレスチェックの受託事業場数が減少し、全体的に受検率が低下しましたが、単価の見直しにより、収入実績は横ばいとなっています。WEB実施による受検率をいかに上げるかという課題が見えてきました。

一方で、WEB受検によるペーパーレス化の結果、結果処理における作業効率が改善されました。2025年度においては、全事業所をWEB受検にすることで、これまで実施から3週間を要した結果報告までの期間が2週間で報告することが可能となりました。多くの事業所から、納期までの期間短縮の要望が多く寄せられていましたが、今回その要望に対応できる結果となりました。今後も、契約事業所の満足度につながるサービスの提供に努めていきます。

【実績】





7. 地域保健推進事業について（その他事業4）

本事業は小児や児童生徒、高齢者の感染症予防のため、本会が実施主体となり会員施設での個別予防接種並びに婦人科個別検診、更に学校医配置業務について行うもので、実施にあたって各種情報提供、相談業務を行いました。

1) 予防接種事業（担当理事：大城 吉則 理事）（副担当：大城 直人 理事）

- ① 個別予防接種受諾施設の取り纏めを行い、市町村との委託契約を行いました。
- ② 個別予防接種県内相互乗入れについて、各地区医師会と調整を行いました。
- ③ 医療機関での個別予防接種が円滑に行えるよう実施マニュアルを作成しました。

2) 婦人科個別検診代行入力事業（担当理事：松嶋 顕介 副会長）（副担当：末永 正機 副会長）

市町村と中部地区医師会とで委託契約を交わし、会員施設での検診が円滑にすすむよう実施要項を作成し各種情報提供等を行いました。

3) 学校医による学校定期健康診断医師配置及び事務代行業業

（担当理事：石川 隆夫 理事）（副担当：塩田 和誉 理事）

学校医の負担軽減を図るため管内の教育委員会及び沖縄県教育庁、一部私立学校と学校健診について委託契約を行うと共に、健診協力医の配置を行いました。また、会員施設から帯同看護師の派遣依頼があり検診センターから看護師を派遣しました。

① 学校定期健康診断の委託契約

管内小学校・中学校・高等学校・養護学校など 116 校へ校医（111 名：内 2 校以上担当 7 名）・健診協力医（58 名）を配置し学校定期健康診断を各市町村教育委員会及び県教育庁等と委託契約を行いました。

② 学校健診帯同看護師の配置

健診現場での養護教諭の負担軽減や、健診医が限られた時間内で効率的に健診を行うた

め、学校医、健診協力医の医院より看護師の帯同が難しい場合、当会検診センターの看護師による帯同を実施しております。

「令和6年度 帯同状況」

中原小学校 5/21、5/22、5/23、5/24

中の町小学校 6/19、6/26

具志川商業高校 4/18、5/23、

8. 医師会事業の健全運営、運営強化に向けての将来構想について

（担当 松嶋 顕介 副会長、末永 正機 副会長、石川 隆夫 副会長）

中部地区医師会では、昭和63年に中部地区医師会館を建設以来、検診センター・訪問看護・介護・居宅事業、看護学校、中部システムサポート、検診センター八重山出張所・中部スタッフサポート・看護小規模多機能型居宅介護と事業を拡大してまいりましたが、令和6年度は「各種医師会事業の将来を見据えた業務の効率化、社会状況に沿った体制を構築すべく、「中部地区医師会将来構想委員会」を設置し、下記の事について協議・改善を実施いたしました。

1) 医師会事業の業務の効率化に向けての見直し

各種医師会事業においての効率化を目的に統括本部を設置し、これまで医師会事務局・医師会検診センター・医師会訪問看護ステーション・ぐしかわ看護専門学校と分かれていた会計部門を一つに統合し（統括本部経理課）、加えて会計システム・勤怠管理システム・社用車管理システム・決済管理システムの導入により、経理・総務・人事・企画に係る業務の効率化について、統括本部を設置し対応いたしました。また、運営管理室を設置し、全事業に係る管理・運営について、指示・指導を行っております。

老朽化した検診センター基幹システム（健診システム）を新システム（富士フイルムヘルゼア）へ入れ替え、令和6年4月より運用しております。

2) 給与体系、退職金制度の見直し

医師会職員の定年退職に伴う新規採用が必要になって来ることから、医師会統括本部に人事課を設置し、時代に即した職員採用、退職給与規定の見直し、改定を進めました。

3) 各種規程の見直し及び新規制定

運営管理室の指導の下、これまでに制定・運用されていた規程に加えて、現在の医師会業務に必要な5規程（「文書管理規程」・「職務権限規程」・「鍵管理規程」・「業務分掌規程」・「印章管理規程」）を新たに制定いたしました。また、コンプライアンス規程については見直しを行い、セクハラ・パワハラ・モラハラ等、各ハラスメントの防止に特化した「ハラスメントの防止に関する規程」を新たに制定し、前述の5規程と合わせ、ガバナンスを向上させることで、今後も医師会職員のモラルを高めてまいります。

4) 新中部地区医師会館建設に向けての準備事業

昭和63年に建設された中部地区医師会館も令和6年度で築36年を経過し、事業拡大に伴う建物のキャパシティの問題、老朽化による建物の破損や空調、電気、水道等の設備に加え、内装物の取替等が発生しており、新たな医師会館（検診センター）の建設に向け、医師会施行部役員ならびに、医師会職員による「将来構想プロジェクト」により検討を進めております。

5) 中部システムサポート・スタッフサポートの事業縮小

医師会全体の組織再編に伴い、中部システムサポート・中部スタッフサポートにて実施し

ていた事業を見直し、中部システムサポートで実施しておりました、ORCA 事業を他業者へ移管し、また中部スタッフサポートにおいて実施しておりました中部地区医師会管内での新規開業予定者に対しての「新規開業支援及びクリニック継承支援事業」については、医師会統括本部・医師会事務局にて継続するよう調整をおこないました。

6) ぐしかわ看護専門学校の学校法人化に向けて

本会のぐしかわ看護専門学校は平成 20 年に開校し、令和 6 年度には 17 年目を迎え 1,109 名の卒業生を送り出し、順調に地域医療の一翼を担う看護師を養成しておりますが、その反面、今後の受験生の確保や看護師不足による教員の確保等、様々な課題を抱えていることも事実であることから、ぐしかわ看護専門学校在り方委員会を設置し、委員の方々から幅広くご意見を伺った結果、ぐしかわ看護専門学校の学校法人化について意見がまとまり、去る 3 月 28 日に開催された第 73 期臨時総会にて承認をいただきました。今後は、準備委員会およびプロジェクトチームを設置し、学校法人化への移行について進めてまいります。